Luminaユーザーが選ぶ

人気大会ランキング 2023

「2023年に出場したレースでいちばん良かった大会は？」Luminaのメルマガ会員とWEBマガジン＆SNSユーザーのべ約3万人を対象にしたアンケート結果をもとに集計した、トライアスリートが選ぶトライアスリートのためのガチランキングを発表！

写真＝小野口健太、播本明彦、藤巻 翔

Lumina BEST 1 2023　Lumina BEST LONG 2023

総合Ranking1位 & ロング1位

佐渡国際トライアスロン

ほぼパーフェクト、圧倒的人気で7回連続1位に

人気の理由

- ダイナミックなコース
- 島挙げてのおもてなし
- 日本最長のロングレース

透明度の高い海、島を1周する変化に富んだ圧倒的な迫力と走りごたえのあるバイクコース、日が暮れてからも応援が絶えないラン、とトライアスリートがレースを楽しむための要素がすべて詰まっている。「島を挙げてトライアスリートを歓迎してくれている雰囲気がとても暖かく、最高の気分」「鬼坂含む国内最長距離のレース」など完走の達成感に加え、おもてなしで心も満たされる、不動の1位、人気レース。

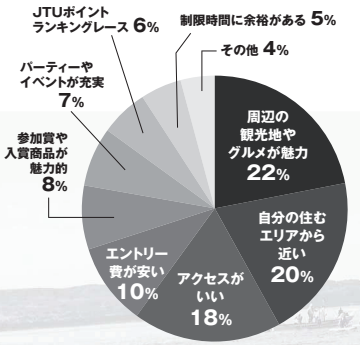
佐渡の口コミはコチラから

2023 Best Race Ranking

順位	大会名	前回順位	ポイント
1位	佐渡国際トライアスロン	1位	369
2位	全日本トライアスロン宮古島	—	213
3位	伊勢志摩・里海トライアスロン	3位 —	204
4位	Mt.富士トライアスロン富士河口湖	2位 ↓	201
5位	ワールドトライアスロンシリーズ横浜	9位 ↑	129
6位	館山わかしおトライアスロン	7位 ↑	126
7位	木更津トライアスロン	7位 —	120
8位	石垣島トライアスロン	5位 ↓	96
9位	九十九里トライアスロン	11位 ↑	93
10位	五島長崎国際トライアスロン	— ↑	78
11位	いぜな88トライアスロン	— ↑	75
12位	アイアンマン70.3東三河	—	69
13位	トライアスロンIN徳之島	10位 ↓	63
14位	全日本トライアスロン皆生	5位 ↓	63
15位	千葉シティトライアスロン	15位 —	54
16位	LAKE BIWA TRIATHLON	13位 ↓	57
17位	トライアスロン伊良湖	13位 ↓	48
18位	はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン	— ↑	42
18位	ひわさうみがめトライアスロン	— ↑	42
18位	河津フラワートライアスロン	16位 ↓	42

※ランキングの数値は総合的なポイント数

あなたの大会選びのポイントは？



人気大会ランキングと同時に行ったアンケートの結果では、トライアスリートはやはりレースだけではなく、前後もたっぷり楽しみたい人が多いようだ。

佐渡が7回連続1位、伊勢志摩が51.5㎞1位の座を奪還

2023年、全日本トライアスロン宮古島が4年ぶりに開催されたことで、2016年（2021年コース別ランキングは除く）にトップに立ってから、6回連続1位の佐渡国際トライアスロンと順位が入れ替わるのかが注目のポイントだった。

結果的には、2位に大差をつけて**佐渡が7連続1位**に輝いた。日本最長の距離、コースロケーションの良さに加え、島を挙げてのおもてなしに惚れ込んでいる選手が多い印象。

2位は宮古島。4年ぶりでも変わらず南国ならではの海の美しさなど景色の良さは抜群で好評。ただ、バイクとランの距離が短くなったことでロングとは言いにくい距離になっているため今後その影響が出る可能性も。

3位には伊勢志摩・里海トライアスロンが入り51.5㎞の部では2年ぶりに1位に返り咲いた。距離をリニューアルしたり、参加者目線の運営など毎年大会をより良くしようとする試みが選手にも伝わっている。

4位はMt.富士トライアスロン富士河口湖。昨年2位から2ランクダウンしたが、晴れていればスタートからフィニッシュまで富士山の姿を臨みながらレースができるという唯一無二の環境と関東圏からも中部圏からも参加しやすいロケーションに票が集まった。

順位はついたが、2位から4位までのポイントは僅差で、老舗の人気レースに迫る2レースは大会の魅力発信の成果が結果に表れていると言えそうだ。

Lumina BEST ★2★ 2023

総合Ranking 2位

全日本トライアスロン宮古島

待ち望んだ4年ぶりの開催に歓喜

トライアスリートの憧れ、宮古島でのレースが4年ぶりに復活。スイムは3㎞のままだが、バイクが123㎞、ラン30㎞（2024年は35㎞に）と短縮したコースレイアウトに変更になった。昼間のうちにフィニッシュでき、選手やスタッフに負担のない運営が参加しやすいという感想をもつ選手がいる一方でもっと長く宮古島を楽しみたいという声も。ただ、文句なしの南国らしいロケーションはそれだけで多くのファンを魅了している。

＼人気の理由／

- 国内随一の海の透明度
- トライアスリート憧れの南国レース
- 島民の熱い応援

宮古島のロコミはコチラから

Lumina BEST ★3★ 2023　Lumina BEST 51.5 2023

総合Ranking 3位 & 51.5㎞ 1位

伊勢志摩・里海トライアスロン

オリジナル「志摩トラディスタンス」で満足度アップ

51.5㎞にこだわらないオリジナルディスタンスを採用したり、前日は子どもから参加できるアクアスロンを実施、2024年からはアクアバイク（スイム＆バイク）という新しいカテゴリーを追加するなど毎年進化をしている大会。「海の透明度、バイクは景色、ランは応援が最高！」「志摩トラディスタンスのバランスがいい」「地域の一体感」など参加選手からはレースを絶賛する声が多く、リピーターが多いことでも知られるレース。

＼人気の理由／

- カテゴリーが豊富で家族で楽しめる
- 海がきれいで透明度抜群
- 町民やスタッフがあたたかい

伊勢志摩の口コミはコチラから

Lumina BEST ★4★ 2023

総合Ranking 4位

Mt.富士トライアスロン富士河口湖

日本で唯一、富士山の麓が舞台

雄大な富士山に見守られながらレースできる唯一無二のロケーションで上位にランクイン。それに加え、各地からのアクセスの良さも票を集める要因となった。「スイムで息継ぎするたびに見える富士山が最高」「オペレーションがとてもスムーズ」など、ロケーションの良さの他、参加するストレスが少ないのも特徴。河口湖大橋を全面通行止めにするなど、地域の協力体制がうかがえ点も満足度が高くなるポイント。フィニッシュ後にふるまわれる鹿カレーも高評価。

＼人気の理由／

- なんといっても富士山!
- アクセスがいい
- 運営がスムーズ

Mt.富士の口コミはコチラから

© Shugo TAKEMI/Japan Triathlon Media

Lumina BEST MIDDLE 2023

ミドルディスタンス 1位

九十九里トライアスロン

爽快感あるバイクコースでミドルデビュー

51.5㎞とミドル、それぞれのリレーの部もある、2000人の大規模大会。都心から参加しやすく、ミドルのデビュー戦として選ぶ人も多い。「バイクコースが広く、また車の侵入の可能性もないため、事故のリスクが限りなく少ない」という声があるように有料道路を貸し切りで走れるバイクコースが人気。海辺の会場でレース後にBBQできるのも参加者の満足度をアップさせている。

＼人気の理由／

- 都心から近いミドルレース
- 有料道路貸し切りのバイクコース
- ミドルデビューにオススメ

九十九里の口コミはコチラから

Lumina BEST U500 2023

定員500人以下の人気レース ベスト3

家族に会いに行くように、毎年参加したくなるローカルレース

1位 河津フラワー トライアスロン

10月末でも外海で泳げる貴重なレース。伊豆の踊り子と河津桜の里、河津町が舞台。1年中花が咲き誇り、海山川の自然の恵みがいっぱいの魅力あふれる町でトライアスロンと美しい景観やグルメ、温泉を楽しめる。アットホームな雰囲気でレース後のじゃんけん大会にもぜひご参加を！

2位 瀬戸内しまなみ海道 今治伯方島トライアスロン

トライアスリートやサイクリストの憧れの地である、「瀬戸内しまなみ海道」は、瀬戸内海に浮かぶ7つの島を結んだサイクリングコースが有名。そのひとつである、伯方島が舞台。島民の温かさ、ボランティアのサポート、美味しい食べ物など、訪れてレースをすれば笑顔になっちゃう仕掛けがいっぱい。

3位 南紀白浜 トライアスロン

その名のとおり、スイムは白い砂浜と透明度抜群の白良浜が舞台。バイクコースは適度なアップダウンが続く海岸線と旧空港の滑走路を走行する。ランは白浜温泉街や円月島など観光地を巡るような設定になっている。会場近くには、地元の海鮮土産物屋や、パンダが有名なアドベンチャーワールドがあり、観光も楽しめる。

海外 今年はもっと海外遠征したい!

日本から参加しやすいアイアンマンレースが人気。今年こそ海外レースに行ってみない？

1位 アイアンマン・ケアンズ

日本との時差が少なく（＋2時間）空港からメイン会場までのアクセスも車で10分ほどと、海外遠征で気になる移動のストレスもほとんどナシ！「世界一美しいコース」の呼び声高いバイクコースは、海岸沿いのゆるやかなローリングヒルで、気持ち良くアイアンマン＆70.3の距離を堪能できる。

2位 アイアンマン・西オーストラリア

オーストラリア·パース空港から約220km（車で2時間半程度）に位置する海沿いの町バッセルトン。日本との時差1時間で平坦基調、周回コースなどから初めてのアイアンマンレースとして出場する人も多い。住民9人に1人がイベントボランティアとして大会を支える。海外からの参加者にとって最も「アットホーム」な雰囲気を味わえる大会のひとつ。

3位 アイアンマン・マレーシア

アジアエリアで開催されているシリーズ戦は、欧米や南半球のシリーズ戦のように標準化され·洗練されていないかもしれないが、日本人トライアスリートにとっては、アクセスも良く、どこか懐かしい、居心地の良い空気感の中でアイアンマンを愉しめるのが特徴。高温多湿な条件下でのレースは、比較的日本人向き。

参加者のリアルな口コミは
Lumina WEBレースガイドへ